

※ 今週のアウトルック (2/4~2/8)

先週は中盤に、FRBが利上げを当分棚上げする方針を示したことにより、米ドルは売り優勢となりました。週末に発表された米国雇用統計は好結果となり、中盤に下げた分を取り戻すような形となり、そのままNY市場を終了しています。

今週も、FRBの利上げ棚上げ状況と、雇用統計の好転を市場がどうとらえるのか、週初めの動きに注目が集まります。

先週のドル円は、FRBの利上げ棚上げ発言で108円台まで下落しましたが、週末に発表された米国雇用統計が好転し、109円台中盤まで回復してそのままNY市場を終了しています。

今週は米国雇用統計の好転を受けて、FRBがどのように動くのか気になるところですが、すぐに方針を変えるような可能性は少ないように思います。

しばらくは108円から110円のレンジから、大きく外れるような可能性は少ないように思います。

ドル円の予想レンジは108円から110円です。

ユーロ円は先週、小動きな展開の中、週末には125円台中盤まで上昇しています。

今週は、126円から127円付近のレジスタンスを抜けられれば、さらなる上昇を期待できるのですが、今週抜けられる可能性は材料不足のため、少ないように思います。

ユーロ円の予想レンジは124円から127円です。

ポンドは、上昇トレンドを維持していましたが、145円付近のレジスタンスが少し厚いようです。

このレジスタンスを突破するにはもう少し時間がかかりそうです。

ポンド円の予想レンジは142円から146円です。

週末の米国雇用統計は良かったのですが、FRBが利上げの棚上げ方針を打ち出しているためさらに買い進むには難しい状況です。しばらくはどちらへも動き使い状況が続く可能性が高そうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。